



まちづくり

Vol.
140

2024. 1. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課企画推進係



令和5年9月9日(土)に前橋駅前けやき並木通りで行われた「前橋バルストリート2023」



ウォーカブルなまちづくり

- 前橋バルストリート2023 ～道路空間を活用した大規模フードフェス～
- 土地区画整理全国大会に参加しました。
- ほこみちインスパイアフォーラム2023に参加しました！

【連載】観光まちづくり最前線 地域を歩くレポート No.33

**松本の湧水は地域に脈々と流れる歴史と文化の象徴
—松本に学ぶ“観光まちづくりの形態は水の如し”**

【投稿】先進都市現地視察 ～宇都宮市におけるLRTを基軸としたコンパクトなまちづくり～

【投稿】令和5年度桐生市景観講演会

「現代美術のキュレーター、群馬でわくわくを企む～街とアートの接点を探して」

【マーチィ'sROOM】●マーチィに訊け 「おもしろまちうちライブラリー」新規貸出図書のおしらせ

- マーチィの掲示板 国土交通大学校に入校した件
都市計画全国大会に行ってきました

【まちづくりイベント情報】●県内で行われるイベントの紹介

- マーチィの独り言





前橋バルストリート2023 ～道路空間を活用した大規模フードフェス～

前橋市 産業経済部 にぎわい商業課

前橋駅前けやき並木通りを舞台に「前橋バルストリート2023」が令和5年9月9日(土)に開催されました。前橋バルストリートの開催は今年で5回目。今年は約200店舗の飲食店がテントやキッチンカーで自慢の料理をふるい、多くの来場者でにぎわいを見せました。

■ 北関東最大級のフードフェス



6車線全面通行止めした
駅前けやき並木通り

イベントのコンセプトは「カッコイイお店が本気で作る カッコイイ大人の休日」。30歳代から50歳代の子育て世代の大人をターゲットに、「道路」という公共空間で飲食を楽しむ屋外型フードフェスとなっています。市内外の飲食店がテントやキッチンカーで出店する飲食エリアのほか、高級車やバイクが並び車両展示エリア、本格的なバーベキューが楽しめるBBQエリア、子どもがバンクで走り回れるキッズエリアなど、約500メートルの区間に子どもから大人まで楽しめる様々なコンテンツが集結しました。

前橋バルストリートは2017年に初開催。前橋駅北口周辺の活性化を目的に飲食店10店舗ほどの出店から始まった歩道でのイベントは、回数を重ねることに来場者が増加。今年はけやき並木通りの6車線を全面通行止めし、過去最大規模での開催となりました。

■ 官民連携による開催

会場であるけやき並木通りは、本市が官民連携によるまちづくりの指針として令和元年9月に策定した「前橋市アーバンデザイン」において、道路空間の利活用という観点からモデルプロジェクトになっているほか、令和3年4月にはまちなかウォーカブル区域に設定されています。前橋バルストリートは、ウォーカブルを推進する活動のひとつとして位置付けられており、市内の飲食店や企業などの様々な業種が集まった実行委員会が主催となっています。

イベント当日には、「食」と「お酒」をはじめとした様々なコンテンツが通りに常設されているベンチなどと上手く融合し、来場者が思うがままに滞在できるウォーカブルな空間が創出され、イベント当日には日中から夜遅くまで1日中滞在している来場者の方も見られました。



また、中心市街地にある「中央イベント広場」では、まちなか店舗が主体となって開催したマーケットも同時開催されたことで、前橋駅と中心市街地を行き来する多くの方の姿を見られ、まちなか全体に大きなにぎわいがもたらされた1日となりました。



夜でもこの人出！



人で賑わう当日の様子

■ 居心地の良い空間を目指して

けやき並木通りにある木々は、どれも幹が太く、まっすぐ高く伸びているものばかりです。その木々が日傘のような役割で多くの木漏れ日をもたらす環境もけやき並木通り特有のポテンシャルであると感じています。

前橋駅-中心市街地-官公庁の3つのエリアを繋ぐ役割としてウォーカブルな空間であることが求められるけやき並木通り。前橋バルストリートをきっかけに、日常的に歩きたくなるような居心地の良い空間ができるよう、引き続き官民連携しながら様々な取り組みを続けていきます。





土地区画整理全国大会に参加しました。

群馬県 県土整備部 都市計画課



姫路駅前社会実験

令和5年11月6日～8日の3日間「第44回土地区画整理全国大会」に参加するため、兵庫県姫路市にいつてきました。姫路駅周辺では土地区画整理事業、連続立体交差事業、街路事業により“にぎわいとるおいにあふれた交流都市の形成”を目指すまちづくりが進められてきました。「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」を基本コンセプトに整備した姫路駅北口のキャッスルガーデン及び芝生広場(駅前広場)には、平日にもかかわらず多くの人が思い思いに過ごす風景が広がっていました。

姫路駅北口から姫路城までつづく大手前通りは、トランジットモール化やほこみち(歩行者利便増進道路制度)が実施されており、広々とした歩道空間に植栽やベンチがほどよく設置してあり、とても居心地の良い空間でした。また、姫路市ウォークアブル推進計画に基づき多くの社会実験が行われており、そのうちの一つ「Himeji大手前通りイルミネーション」を全国大会参加者のために試験点灯してくれるというサプライズのおもてなしもありました。



トランジットモール(進入禁止表示)



社会実験(デリロ)



Himeji大手前通りイルミネーション

ちなみに食べ物も、えきそば、ひねぼん、アーモンドバターなど美味しいものばかりでした。ぜひ姫路市に行った際は食してみてください。



ほこみちインスパイアフォーラム2023に参加しました！

群馬県 県土整備部 都市計画課

2023年11月30日(木)に、東京都竹芝にて開催された国土交通省道路局主催「ほこみちインスパイアフォーラム2023」にま～ちいすから3名が行って来ました！このフォーラムでは、各地の様々な「ほこみち」の取組などの道路空間の活用について行政や民間の実践者等から紹介をいただきながら、人が主役の魅力ある空間について話し合います。

今年のテーマは「道はもっとカラフルでいい！」長崎や狛江、虎ノ門など各地の道路空間・広場等の活用法の紹介や「道路空間活用に関心を持つ若い人が増えている」という謎のみち活新世代現象？の分析、また子どもが安心して過ごせるみちの新しい可能性についてなど、数多くの登壇者による「ほこみち」の現在・未来についての様々な視点やアイデアが話し合われました。



入口に展示されていた各地の取組紹介

道路空間活用の新しい動きは、p2の前橋バルストリートや館林市での「ミチカツ」社会実験(令和3年度)、また県でも令和2年7月～令和5年3月に「歩道空間オープンテラス」社会実験の実施等、様々な取り組みが行われています。「ほこみち」を含むこれら道路空間活用について、今回のフォーラムで学んだ事を生かしていきたいと思ひます。



トークセッションの様子(子どもまんなかみちづくり・クライマックス)





松本の湧水は地域に脈々と流れる歴史と文化の象徴 —松本に学ぶ“観光まちづくりの形態は水の如し”—

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

謹賀新年。先輩方から受け継いできた寄稿も今回が最終回となりました。これまでも紹介したバスタプロジェクト展開の目的地の松本市に、観光まちづくりのススメ方の極意を感じました。

■ 松本に湧水が多い理由

松本市街地中心部に、場所によっては都心のコンビニよりも高い密度で存在する湧水。なぜ松本には湧水がこんなにも多いのか。それは松本市街を囲む様に存在する山々と、そこから流れ込んでくる複数の川からもたらされる豊富な水量が源となっています。その水質は「平成の名水百選」に登録されており、松本市は「水の街」といえます。松本市では、水をテーマに歴史や町並みを歩いて楽しめる3つのコースを記載した、「まつもと水巡り」マップを作成・配布し、まち歩きを推奨しています。

■ 松本の水を巡る旅

今回は、「時代とともに守られた水」というコースを散策してきました。実際に巡ると、昭和の風情がある路地も通るが、旅情と共に本当に順路なのかと少し不安にもなる。鯛萬の井戸は市内の井戸で最も水温が低い井戸であり、雑味がなく美味しいと遠方から訪れる方もいるといわれています。住宅街を進んで行くと槻井泉神社の湧水に辿りつきます。この湧水は近隣の町名の由来となっています。このコースの終点は女鳥羽の泉です。この泉は「善哉酒造」の前にあり、湧水で作られた酒は絶品です。市内のどの湧水でも地元の方が時折世間話をしながら水を汲んでおり、湧水が地域コミュニティの交流の場となっているのです。地域の生活インフラであり交流の場である湧水を巡る旅、皆さんもいかがでしょうか。

■ 観光まちづくりの形態は水の如し

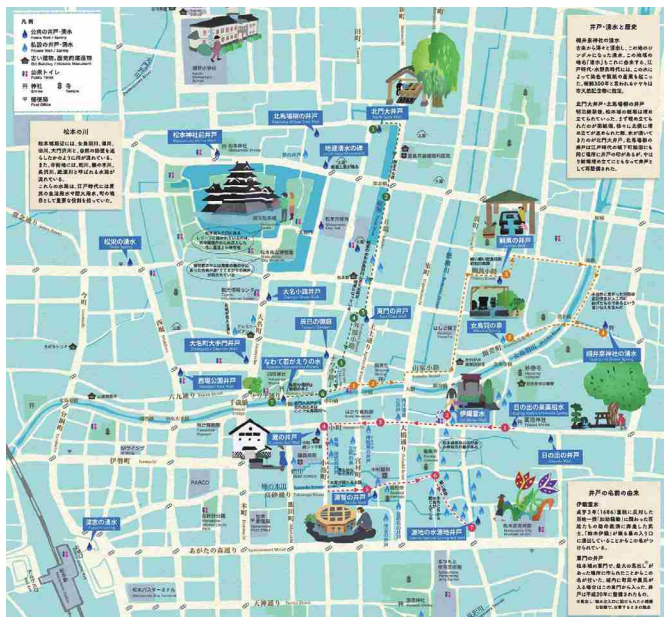
「持続可能な地域づくり」は、もはや定番の謳い文句になっています。水は器によって形を変えます。冷やせば堅い氷にもなり、熱すれば蒸気にもなります。

私たちの住む地域の足元には、観光まちづくりの源泉でもある地域が歩んできた履歴や地域の記憶とともに、脈々と水が流れています。その水の脈を受け止める器が、いま求められているのではないのでしょうか。地域の器の形に応じて、観光まちづくりに取組む形態は様々であり、正解はないのかもしれませんが。地域の活力の源を受け入れる器づくりに、まさに地域の個性が映し出されるのです。これからも観光まちづくりの持続的な展開を見守っていきたいものです。

(最後の生き物係山下&Dr.Shige)

参考：松本市公式観光情報「新まつもと物語」/まつもと湧水巡り
<https://visitmatsumoto.com/coverstory/yusuimeguri/>

※3つのコースとは、①水の生まれる街、②時代とともに守られた水、③お堀の水をたどるです。



松本市では、湧水マップを作成。まちなかに多くの湧水があり、身近な存在となっています。



古来より和歌にも詠まれ都(みやこ)にも知られた槻井泉神社の湧水



松本市街地に残る最後の酒造所「善哉酒造」



先進都市現地視察～宇都宮市における LRTを基軸としたコンパクトなまちづくり～

群馬県 都市計画協会

令和5年10月23日(月)に栃木県宇都宮市で群馬県都市計画協会主催の先進都市現地視察を実施しました。LRTが8月26日に開業したばかりであったことから、13市43名という大変多くの方にご参加頂き、宇都宮市のまちづくりについて学ぶことができました。

■ 宇都宮市のまちづくりの背景

宇都宮市は、人口減少・低密度な市街地の拡散といった社会課題に加え、公共交通の経営状況の悪化や構造的な交通渋滞の発生といった問題を抱えていました。

そのような課題を解決するため、宇都宮市では「ネットワーク型コンパクトシティ(NCC)」の形成を目指し、階層性のある公共交通ネットワークの構築を行うため、その一環としてLRTを整備することとなりました。

■ LRTについて

LRTとは「Light Rail Transit(ライトレールトランジット)」の略称であり、各種交通との連携や低床式車両(LRV)の活用、軌道・停留場の改良による乗降の容易性などの面で優れた特徴がある次世代交通システムのことを指しています。

LRTは、宇都宮市の東西の基幹公共交通として整備されており、それを軸としてバス路線といった公共交通ネットワークを再編するという宇都宮市のまちづくりの中心となっています。

どの時間帯も多くの方が利用しており、公共交通ネットワークの再構築としてはお手本になる素晴らしい事例であると実感しました。



愛称は「ライトライン」

■ 宇都宮駅東口整備事業

LRT整備だけでなく、宇都宮駅東口は「宇都宮駅東口整備事業」を実施し、大きく生まれ変わっています。

東口を土地区画整理事業により整備した後に、MICE※誘致の拠点となる「ライトキューブ宇都宮」やホテルや商業施設を兼ね備えた「ウツノミヤテラス」、病院やホテルの新築などが続き、LRT だけではなく宇都宮市のまちづくりを感じることができました。

※ MICE：企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)等、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称



「ライトキューブ宇都宮」と
交流広場「ライトヒル」



「ライトキューブ宇都宮」の見学



「ウツノミヤテラス」





令和5年度桐生市景観講演会

「現代美術のキュレーター、群馬でわくわくを企む～街とアートの接点を探して」

桐生市 都市整備部 都市計画課

桐生市では、景観行政団体になった2013年以降、景観形成に関わる様々な取り組みを実施しており、そのひとつとして、多くの方にまちの景観を意識していただく機会となるよう、景観講演会を開催しております。

今回は、桐生市在住で東京藝術大学准教授／アーツ前橋チーフキュレーター※の宮本武典さんを講師に迎え、令和5年11月17日(金)に美喜仁桐生文化会館(スカイホール)にて講演をいただきました。宮本さんは、国内では奈良、東京、山形、国外ではバンコク、パリと様々な街で暮らしてきた経験があり、そうした中で2019年に桐生市内の重要伝統的建造物群保存地区に移住をされています。(※キュレーター=展覧会の企画・監督などを行う専門職)

講演会の関連イベントとして、講演会の周知と市の取組内容を紹介するパネル展を市役所1階市民ロビーにて10月16日～11月9日に実施し、講演会当日も同様の展示を会場前のスペースで行いました。宮本さんがキュレーターを務める展覧会のポスターを合わせて掲示したこともあり、講演会と共に景観まちづくりに興味を持っていただく良い機会となりました。

講演会では、まず市から、景観行政の取組についての発表を行いました。景観条例、屋外広告物条例の経緯を説明するとともに、色彩基準や屋外広告物の改善路線など具体的な制度・取組みの紹介を行いました。

市の発表後、「現代美術のキュレーター～街とアートの接点を探して」とのテーマで、宮本さんにお話しをいただきました。

講演では宮本さんがこれまで携わってきた芸術プロジェクトの事例を紹介いただきました。東日本大震災前後での東北地方での活動から、絵本作家荒井良二氏らとの山形ビエンナーレの立ち上げ、角川武蔵野ミュージアムの開館事業や東京で暮らす外国の方に焦点を当てた作品、そして桐生での織物工場を活用した学生さん達との活動など、非常に多くの芸術企画について動画やスライドを交えて説明いただきました。

その多くに共通していたのは、単に芸術作品を持ってきて展示するのではなく、その地域の外から来たアーティストが地元の人たちと共に、その地域の風土や歴史をもとにした作品を作り、次の世代につなげていくという姿勢でした。今後の景観を含めたまちづくりにもつながっていくような大変興味深い講演をいただきました。



宮本 武典さん
(東京藝術大学准教授/
アーツ前橋チーフキュレーター)



パネル展の様子



講演会の様子



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！ 「おもしろまちうちライブラリー」新規貸出図書のお知らせ

「おもしろまちうちライブラリー」では県内市町村職員の皆さん、まちづくり市民団体の皆さんをはじめ、まちづくりに興味・関心のある県民の方々へ、本と動画資料(DVD等)の貸し出しをしています。本年度の新規貸出図書は右記のとおりです。

ぜひ「おもしろまちうちライブラリー」を、まちづくりの参考としてご利用ください。

また、まちづくりに関する本の購入リクエストも受け付けています。限られた予算内での事なのですべてにお応えすることはできませんが、お気軽にご連絡ください。

書籍名	著者等
ウォーカブルシティ入門	ジェフ・スベック
公共空間の景観力	藤本 英子
ストリートファイト：人間の街路を取り戻したニューヨーク市交通局長の闘い	ジャネット・サディク＝カーン、セス・ソロモノウ
公民連携まちづくり 事例&解説	日経アーキテクチャ
デンマークのスマートシティ	中島 健祐
LANDSCAPE DESIGN No.152	マルモ出版

●詳細やライブラリー蔵書一覧などは、

おもしろまちうちライブラリー



マーチィの掲示板

国土交通大学校に入校した件

群馬県 都市計画課 都市計画係 清水 隆宏

令和5年9月25日(月)から10月6日(金)に東京都小平市の国土交通大学校で開催された「土地利用計画研修」に参加しました。土地利用計画制度に関する基本知識や最新の専門知識の修得を図ることを目的とするもので、都市計画経験2年以下の研修生がほとんどでした。

班別討議では、特定の地区を対象に人口動態、ハザード情報等の基礎データを収集し、実際の現地調査により地域課題を抽出し、研修員同士で意見交換・討議を進めながら、課題解決に向けて土地利用計画制度(地区計画)を活用した今後のまちづくり方針とその実現手法を検討し、発表を行いました。私の班は研修生全体から見ると非常に若く、私が平均年齢を上げている状況でしたが、みなさん知識が豊富で、国・県・市と様々な立場からの意見を聞くことができ、とても貴重な経験となりました。

また、本研修は新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、4年ぶりに全カリキュラムが集合研修となったため、講義後には班員だけでなく全国の研修生と多くの交流を図ることができました。研修後には、交流した研修生と連絡を取り合い、業務で悩んでいることについて情報交換する機会もあり、早速業務で活用することができました。今後もこの繋がりを大切にしていきたいと思います。



都市計画全国大会に行ってきました

群馬県 都市計画課 都市計画係 住谷 芳英

令和5年11月16日(木)から17日(金)に福島県で開催された「第75回都市計画全国大会」に参加しました。大会の大きなテーマの一つは「東日本大震災・原発事故からの復興まちづくり」でした。大会の中で、印象に残った双葉町の復興まちづくりについてお伝えします。

双葉町は、福島第一原子力発電所が立地する町です。震災当時の人口は約7千人でしたが、令和4年8月に拠点区域の避難指示が解除されたものの、令和5年9月現在の居住者は約90人で、帰還意向がある町民は約14%ということでした。帰還する町民が少ない中、現地は空き地や空き家ばかりとなっており、今後、土地利用をどうしていくのだろうか、というのが率直な感想でした。双葉町は、まずは、帰還者や移住者の「住む拠点」と「働く拠点」を重点的に整備することとし、全面買収により新市街地を整備できる「一団地事業」を都市計画決定し事業を進めており、その効果を周辺に波及させていく考えです。

大会を通じ、原子力災害は通常の災害と異なり、広域かつ長期の避難を余儀なくされる点や、汚染がある点で特殊であることから、「空間の復興」だけでなく「人の復興」に向けて、課題は山積みであると感じました。今後、双葉町をはじめ、福島復興まちづくりに関心を持ち続けていきたいと思っています。



福島大学 川崎興太教授による記念講演





まちづくりイベント情報



※新型コロナウイルスの影響により開催中止、延期場合があります。予めご了承ください。

第11回老神温泉びっくりひな飾り

特設ひな壇には華麗なひな飾りがところ狭しと並んでおり、その様子はまさにびっくり!!

■2月中旬～3月下旬ごろ
■沼田市 利根観光会館及び
老神温泉参加旅館内
【お問い合わせ先】
老神温泉びっくりひな飾り
運営委員会
TEL 0278-56-3013
(老神温泉観光協会)



わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション

各駅舎で色鮮やかなイルミネーションが点灯します。暗闇に浮かび上がる幻想的な情景をぜひご覧ください。金・土曜・休日限定のお得なツアーもあります。詳細はQRコードのページをご覧ください。

■～2月29日(木)
17:00～各駅最終通過まで
■わたらせ渓谷鐵道各駅
(全駅を予定)
【お問い合わせ先】
わたらせ渓谷鐵道株式会社
TEL 0277-73-2110



つつじが岡公園イルミネーション

約20,000個の電球が織りなす光彩が、冬の園内を幻想的に照らします。

■～1月21日(日)16:30～21:00
■館林市つつじが岡公園
つつじが岡ふれあいセンター周辺
【お問い合わせ先】
つつじが岡公園総合管理事務所
TEL 0276-74-5233



心とからだを満たされる あがつまラリー旅

スマートフォンでチェックポイントにあるQRコードを読み取ると、デジタルスタンプが獲得できるデジタルスタンプラリーを実施しています。自然や温泉など魅力あふれる群馬県吾妻エリアを回り、デジタルスタンプの数に応じて素敵な賞品が当たる抽選へ是非ご参加ください!

■～1月31日(水)
■吾妻エリア6町村に設置した
6箇所のスポット
【お問い合わせ先】
吾妻行政県税事務所
TEL 0279-75-3301



あしりせ

令和5年度 景観まちづくり講演会 里山景観は、誰のもの? ～二拠点生活の視点で地域の景観を考える～

「平日は東京、週末は千葉県南房総市の里山で暮らす」という二地域居住を実践しているNPO法人南房総リパブリック代表理事・建築ライター 馬場 未織先生より、南房総での古民家・廃校の利活用や、子ども達への景観啓発活動など、人々が楽しみながら継続できる、景観保全・改善と地域のにぎわい創出の成功事例をご紹介します。

※参加には、事前の申し込みが必要です。

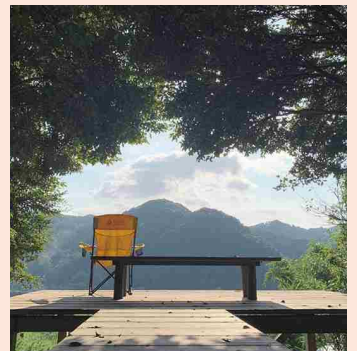
【日時】2月3日(土)14:00～16:00(13:30～受付)
【会場】富岡製糸場 国宝 西置簾所 多目的ホール
【申込】QRコード(ぐんま電子申請受付システム)もしくは
FAXにてお申込みください。(募集定員150名)
【問い合わせ先】群馬県都市計画課 TEL:027-226-3652

参加
無料



■講演プログラム■

- 13:30 受付開始
- 14:00 開会
市長あいさつ
- 14:10 富岡市景観賞
表彰式
- 14:30 基調講演・
質疑応答
- 16:00 閉会



帝京大学 経済学部 観光経営学科
Faculty of Economics Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識と行動力をあわせ持つ人材を育成します。

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

入学試験情報	出願期間	選考試験日	合格発表日
※詳細は必ず「入学試験要項2024」をご確認ください。	2024年2月1日(木) ～ 2月14日(水)	【試験日自由選択制】 2月22日(木) 2月23日(金)	3月6日(水)

※出願方法はインターネット出願です。

帝京大学 本部広報課 TEL:0120-508-739 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 URL:https://www.teikyo-u.ac.jp/

地域の宝を掘り起こす! 観光事業支援

Salvage まちづくりラボ・サルベージ株式会社

- ・観光事業 (PR) 支援
- ・イベント企画・運営支援
- ・特産品を活用した商品
ご当地メニュー開発
- ・観光市場調査

「伊勢崎市埴島村まちづくり推進事業委託」他各地でお世話になっております。

弊社公式ページ
東京都町田市の中町1-22-7
Tel. 042-729-8618 Fax. 042-729-8619

マーチの独り言



みなさま明けましておめでとうございます。年末年始をいかがお過ごしでしょうか? 今年の干支は「辰」です。辰は最も縁起のよい干支といわれており、様々な願いを叶えてくれるだけでなく、あらゆる物事を良い方向へ導いてくれる力があるそうです。今年もみなさまに役立つ情報を発信したいと思います! よろしくお祈りします。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。



【お問い合わせ先】群馬県国土整備部都市計画課企画推進係
TEL 027-226-3661 URL https://www.pref.gunma.jp/page/11493.html